

第3回自治会親善モルック大会・体験会

問合せ

生涯学習課 ☎(81)3907

地域の親睦と健康の増進を図るため、自治会親善モルック大会を開催します。また、大会出場者に限らず誰でも気軽に参加できる体験会も開催します。健康づくりや地域交流に活用してください。

大会 11月15日(日)8時50分～12時 受付8時30分～

会場 なかい里都まちミニパーク(なかい里都まちCAFÉ横)

※雨天中止

対象 同一自治会内の小学1年生以上、1チーム2人以上6人以内
定員 1自治会2チームまで

申込み 大会は、各自治会の自治会長などへお申し込みください。

体験会 ①10月12日(月)9時30分～(雨天中止)

②10月28日(水)19時～

③11月4日(水)9時30分～(雨天中止)

④11月7日(土)9時30分～(雨天中止)

会場 ①③④なかい里都まちミニパーク

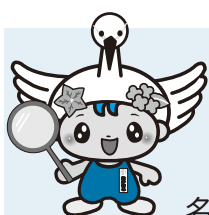
②改善センター多目的ホール

申込み 体験会は、各開催日の2日前までに生涯学習課へお申し込みください。

モルックとは

数字の書かれている木の的を、木の棒を投げて倒し、目標の数字ぴったりを目指していくゲームです。

発祥の地フィンランドでは、サウナやバーベキューを楽しみながら気軽にプレイされており、老若男女問わず楽しめます。



雑木林の生物多様性

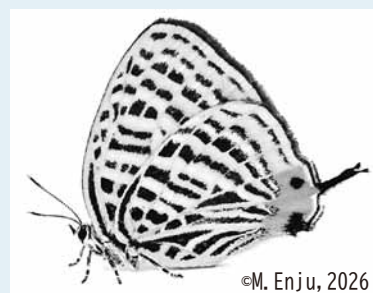
問合せ

産業環境課 ☎(81)1115

中井町の雑木林は、クヌギやコナラを中心とした、里山らしい落葉広葉樹の林です。「雑」と名が付くように、ケヤキ、ヤマモミジ、エノキなど、さまざまな樹木が混じり合い、豊かな表情を見せています。

かつて薪が暮らしの燃料だった時代、この林は「薪炭林」として、人の手を入れながら守られてきました。下草を刈り、一定の周期で伐採して若返らせることで、林を絶やさず使い続ける、人の営みとともにあった風景といえるでしょう。

人とともにあった雑木林には、林床にキンランやエビネが咲き、林の縁ではゼフィルス類と呼ばれる赤や緑の金属光沢のはねをもつ美しいシジミチョウが舞いました。夏には樹液を求めてカブトムシなど多くの昆虫が集まり、オタマジャクシから育ったアマガエルやシュレーゲルアオガエルが林をすみかとし、それらを捕食するマムシなどの蛇類も姿を見せました。雑木林は、多様な生きものが息づく、にぎわいのある環境だったのです。



©M. Enju, 2026

ウラナミアカシジミ

しかし、薪を使う生活がなくなったことで、人との距離は次第に遠くなりました。下草は伸び放題となり、笹や竹が入り込んで、足を踏み入れにくい林が増えています。こうした環境は、獣や昆虫、植物にとっても暮らしにくく、生息地としての機能が弱まってしまいます。若返りのない林では老木が倒れやすくなり、林としての姿そのものが失われつつあります。

町内の一部では、水源林を守るために下草刈りや伐採を公費で行っていますが、広い範囲に雑木林が点在しているため、生物多様性の回復にはまだ十分とはいえません。これから、どのように人と林を再び結びつけていくのか。中井町の美しい雑木林を未来へ引き継ぐための、大切な局面を迎えていると考えています。